

# 104-294

## 問題文

(処方4)

ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物錠 5 mg

1 回 1 錠 (1 日 1 錠)

1 日 1 回 朝食後 14 日分

(処方5)

デュラグルチド (遺伝子組換え) 皮下注 (0.75 mg/1 キット) 2 キット

1 回 0.75 mg

1 週間に 1 回 皮下注射 (自己注射)

1. 多尿・頻尿が見られても水分補給は控えること。
2. 嘔吐や腹痛の場合は、連絡すること。
3. 高所作業や自動車の運転等には注意すること。
4. 処方5を注射し忘れた場合は、次回投与日に2回分を注射すること。
5. タンパク質制限をした食事を摂取すること。

---

## 解答

問294 : 1, 5問295 : 2, 3

## 解説

### 問294

太り気味のおじさん、放置していた 2 型糖尿病→入院という事例です。

選択肢 1 は妥当な記述です。

感覚的には、他人としゃべりながら続ける事ができる程度の運動量です。

選択肢 2 ですが

運動中の血圧上昇・血流増加に、網膜の血管が耐えられなくなって出血する危険性があるため、重症化した場合は運動療法を中止します。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

せっかく消費したのに増やしては意味がない、、、ですよ？選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

低血糖のおそれがあり、食前を勧める というのは適切ではないと考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は妥当な記述です。

以上より、問294 の正解は 1,5 です。

### 問295

選択肢 1 ですが

脱水を避けるために、こまめな水分補給が推奨されます。水分補給を我慢させるのは適切ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

選択肢 2 は、いわゆるシックデイにおける血糖コントロールのための指導です。また、

選択肢 3 は、低血糖による危険についての指導です。

選択肢 4 ですが

注射忘れに気づいた時点で、次の注射予定まで 72 時間以上あれば、気づいた時点で注射し、以降は予定通り継続します。次の予定まで 72 時間未満であれば、一回とばして、以降予定通りの注射を行います。「次回 2 回分注射」ではありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

タンパク質制限は、腎臓病についての記述と考えられます。糖尿病性腎症では必要な制限ですが、本問症例では、クレアチニン基準値内、尿タンパク（－）から、必要ないと判断されます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問295 の正解は 2,3 です。